

平成15年11月13日

各位

会社名 住友不動産株式会社
代表者名 取締役社長 高島 準 司
(コード番号 8830 東証第一部)
問合せ先 企画本部企画部 尾台 賀 幸
(TEL. 03-3346-2342)

中期経営計画策定のお知らせ

当社は、現在推進している「新成長3ヵ年計画」が当期末をもって終了するため、次期（平成17年3月期）を初年度とする新しい中期経営計画を策定いたしましたので、その内容につき下記の通りお知らせいたします。

本計画は、過去最高益を更新しバブル崩壊の打撃を克服した「経営再建5ヵ年計画」、その後を受けた経営の新しい発展段階である「新成長3ヵ年計画」に続く、第2の経営発展段階と位置付ける中期計画です。

記

1. 名 称 「巡航成長3ヵ年計画」
2. 計画期間 平成17年3月期～平成19年3月期、3ヵ年
3. 基本戦略
「積極路線の基本は貫くものの、これまでの2つの経営計画で実現したハイペースの成長を巡航速度にコントロールし、財務体質の強化を図る」
4. 計画の骨子
 - ① 成長目標

売上高	+	1,200億円	(平成19年3月期	7,000億円)
営業利益	+	200億円	(1,150億円)
経常利益	+	200億円	(850億円)

(参考1) 過去の経営計画との成長ペース（計画期間中の増加額）の比較

	経営再建5ヵ年計画 (平成10年3月期 ～13年3月期)	新成長3ヵ年計画 (平成14年3月期 ～16年3月期)	巡航成長3ヵ年計画 (平成17年3月期 ～19年3月期)
売上高	1,203億円	1,208億円	1,200億円
営業利益	319億円	198億円	200億円
経常利益	358億円	265億円	200億円

注) 平成16年3月期は当期予想業績、平成19年3月期は計画目標

② 有利子負債削減の継続

純有利子負債を営業利益の8倍以下に抑制（ND／OPレシオ）

③ 自己資本の蓄積

純有利子負債の自己資本に対する倍率を3倍以下に改善（ND／Eレシオ）

(参考2) 過去の経営計画基準年度における経営指標の比較

	平成9年3月期	平成13年3月期	平成16年3月期	平成19年3月期
ND／OP レシオ	29.6倍	15.5倍	10.0倍	8倍以下
ND／E レシオ	5.4倍	6.1倍	4.3倍	3倍以下

注) $ND/O P \text{レシオ} = (\text{有利子負債} - \text{現預金}) \div (\text{営業利益} + \text{受取利息配当金})$

$ND/E \text{レシオ} = (\text{有利子負債} - \text{現預金}) \div \text{自己資本}$

平成16年3月期は当期予想業績、平成19年3月期は計画目標

④ 先行投資リスクを負わない事業分野の成長促進

受注生産事業2部門(完成工事、不動産流通)の経常利益シェアを全体の3分の1に高める

⑤ 新事業分野の創出

以上